

2019年7月10日(水)

根本匠厚生労働大臣が 当社の中央技術研修センタを視察 ～施設や訓練の視察に加え、当社社員との対談も実施～

株式会社協和エクシオ(本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：船橋哲也)では、7月5日、厚生労働省の根本匠厚生労働大臣が埼玉県和光市の「協和エクシオ中央技術研修センタ」を同省および中央職業能力開発協会（JAVADA）の関係者とともに訪問し、センタ内の各施設や訓練の様子を視察されるとともに、当社社員との対談も実施されました。

今回の根本厚生労働大臣の視察は、技能振興施策を推進する厚生労働省が、ものづくり教育の現場の視察と青年技能者との対談を目的とする中で、厚生労働省からの要請を受け実現したものです。

中央技術研修センタは、当社の技術者育成の中核拠点で、普段は社員に対し情報通信ネットワーク構築に関する各種技術研修に加え、若手社員の各種技能競技大会に向けた訓練などを実施しています。また近年は、研修や訓練以外にも学生の通信建設業界への理解促進を目的とした工業高校や大学の体験実習や、海外からの視察要請も積極的に受け入れています。

各種技能競技大会に向けた訓練については、2年に1度開催される世界各国・地域の若者が技能を競う「技能五輪国際大会[※]」の“情報ネットワーク施工”職種において、競技が新設された第38回大会から第41回大会までの4大会と、2017年10月にアラブ首長国連邦・アブダビで開催された第44回大会を加えた5大会で、出場した当社社員全員が金メダルを獲得するなどの成果をあげています。

視察当日は、当社代表取締役社長の船橋も現地で根本厚生労働大臣および一行の訪問を歓迎し、当社および中央技術研修センタの概要、さらには人材育成と合わせ技能五輪への取り組みについてご説明した後、新入社員研修の一環として実施していた光ケーブル接続の様子や、技能五輪に向けた訓練として実施していた光ファイバケーブルの融着接続、LANケーブルのプラグ・ジャック接続の様子などを視察いただきました。

視察後は、根本厚生労働大臣と当社の社員で昨年10月にアラブ首長国連邦・アブダビで開催された「第44回技能五輪国際大会」情報ネットワーク施工職種に日本代表として参加し金メダルを獲得した清水義晃社員との対談も実施されました。

当社では、光アクセス工事をはじめとする情報通信ネットワークの構築分野において、今後もさらなる技術力の強化・向上ならびに人材育成を図るとともに、情報通信産業の発展に積極的に寄与していきたいと考えています。

※技能五輪国際大会…

各国・地域の若者が技能を競うことにより、参加国・地域の職業訓練の振興および技能水準の向上や、青年技能労働者（満22歳以下 ※情報ネットワーク施工職種などの一部の競技は25歳以下）の国際交流と親善を目的として、2年に1度開催されています。2017年の第44回大会は、51職種に59カ国・地域から1,250名の選手が参加しました。

日本は過去3回国際大会を開催（1970年・東京、1985年・大阪、2007年・静岡）しており、現在は2023年の第47回大会の愛知開催を目指し、招致活動を進めています。



写真左から、当社代表取締役社長：船橋哲也、根本厚生労働大臣、当社の清水義晃社員



写真は、新入社員研修を視察する根本厚生労働大臣
(写真中央右は当社代表取締役社長：船橋哲也)

本資料に関する報道機関からのお問い合わせ先
株式会社 協和エクシオ

〒150 - 0002 東京都渋谷区渋谷 3 - 29 - 20 総務部 CSR・広報室
電話：03 - 5778 - 1075 (直) FAX：03-5778-1228
担当：平田 健吾